

「複写機遺産」

第5回（2024-2025）募集のご案内

C.F.カールソンの発明から80年を迎えた2018年、日本画像学会は、創立60周年を記念し、オフィスの文書処理業務に革新をもたらした歴代の「現存する」複写機に搭載された技術の記憶を長くとどめ、後世に伝えるために、「複写機遺産」を認定する事業を開始いたしました。歴史的複写機を保存、展示されていらっしゃる事業者各位におかれましては、趣旨ご理解の上、複写機遺産認定事業にご協力のほどお願い申し上げます。

■ 目的

歴史に残る複写機技術関連遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝えることを目的に、主として複写機技術に関わる歴史的遺産「複写機遺産」(Copying Machine Heritage)について日本画像学会が認定する。

■ 認定の指針

「複写機遺産」とは複写機技術の歴史を示す具体的な事物・資料であって、以下のいずれかに合致するものをいう。

- (1) 複写機技術の「発展史上」重要な成果を示すもの(工学的視点から)。
- (2) 複写機技術で「国民生活、文化、経済、社会、技術教育」に対して貢献したもの。

各項目の内容

- (1) 複写機技術発展史上重要な成果を示すもの
 - ・複写機技術で獨創性または新規性のあるもの
 - ・品質または性能が優秀なもの
 - ・複写機技術の進歩発達過程において一時代を画したもの(改良発達)
 - ・新たな産業分野の創造に寄与したもの(波及効果のあったもの)
 - ・設計上特筆すべき事項のあったもの
 - ・日本のものづくりの心と技を端的に示すもの
- (2) 複写機技術で国民生活、文化・経済、社会、技術教育に対して貢献したもの
 - ・国民生活の発展、新たな生活様式の創出に顕著な貢献のあったもの
 - ・国民生活・文化に貢献したもの
 - ・地域の発展と活性化に貢献したもの
 - ・社会、文化と複写機技術の関わりにおいて重要な事象を示すもの(最初、最古のもの)
 - ・動態保存で現在も活用されているもの
 - ・製造当初の姿を良くとどめているもの
 - ・意匠上特筆に値するもの
 - ・複写機技術の継承を図る上で重要な教育的価値を有するもの

■ 認定基準

次の各項目のいずれかに該当するもので、広く複写機技術・複写機工学に寄与したもの。

(1) 対象物が、その独自性(例えば、はじめて開発されたもの、最初のもの、現在最古のもの、以前に広く使われた複写機で使用されている最後のもの)によって区別されるもの。

(2) その他、複写機技術史上の特徴を保有しているもの。

(3) 既に博物館などで記念物として認定されたものも含む。

■ 認定対象

認定対象としては原則として

- (1) Landmark: 複写機を含む象徴的な建造物・構造物
- (2) Collection: 保存・収集された複写機
- (3) Documents: 歴史的意義のある複写機関連文書類

■ 対象となる時代

原則としてC.F.カールソンによる電子写真技術の発明以降の製品化がなされた時代を対象とするが、必要に応じて範囲を遡及的に拡大することを妨げない。また、年代の下限は設けない。

■ 複写機遺産推薦方法、申請用紙

複写機遺産特設サイトより『複写機遺産申請書』をダウンロードしていただき、必要事項をご記入のうえ、期日までに下記送付先までE-mailまたは郵送にてご提出ください(申請書等をご返却いたしませんので、予めご了承ください)。

また、昨年までに申請いただいた候補は、引き続き審査いたしますので、再度のご申請をいただく必要はございません。

■ 複写機遺産候補の推薦締切

2025年1月10日(金)

■ 複写機遺産候補の審査

2025年1月から11月にかけて、書類審査、現地視察等を行い、認定基準を満たす候補資料数点を選出します。遺産の認定を受けるには、資料所有者に下記の点にご同意いただく必要がございます。

- (1) 今後とも資料の保存と維持に努めていただくこと
- (2) 可能な範囲内で資料の公開の機会を作っていただくこと
- (3) 資料の移動や廃棄を行う場合は、事前に日本画像学会へご連絡いただくこと

■ 複写機遺産候補の認定

2026年2月(未定)に日本画像学会理事会の承認を経て、学会ホームページで公開します(公開日未定)。

2026年度の日本画像学会年次大会の中で認定遺産の紹介および、認定証の授与式を行います。(認定の内示は予めいたしますが、公開日までは口外されないようお願いいたします)



一般社団法人日本画像学会 The Imaging Society of Japan, ISJ


〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5 東京工芸大学内

Tel: 03-3373-9576 / Fax: 03-3372-4414

[E-mail] isj-information@isj-imaging.org 【ホームページ】 <http://www.isj-imaging.org/isj.html>

e-mailの件名に、「複写機遺産」とお書き添えください。

複写機遺産全リスト(2024年6月10日現在)

<p>【複写機遺産第01号】リコー リコピー 101 複写の代名詞「リコピー」の起源となった卓上複写機</p>  <p>印字方式：ND 感光紙を用いた湿式現像方式 製造年：1955年 所在地：東京都大田区 株式会社リコー 本社1F</p>	<p>【複写機遺産第02号】富士ゼロックス 914 国内で製造された初めての乾式電子写真方式の事務用複写機</p>  <p>印字方式：乾式電子写真方式 製造年：1962年 所在地：神奈川県南足柄市 富士フィルムビジネスイノベーション株式会社 技術歴史館（塚原研修所内）</p>
<p>【複写機遺産第03号】キヤノン NP-1100 ゼロックス社の特許網を破った独自技術による普通紙複写機</p>  <p>印字方式：乾式電子写真 NP 方式 製造年：1970年 所在地：東京都大田区 キヤノン株式会社 CANON GALLERY</p>	<p>【複写機遺産第04号】コニカ U-Bix 480 国産技術による最初の間接乾式電子写真複写機</p>  <p>印字方式：間接乾式電子写真方式 製造年：1971年 所在地：東京都八王子市 コニカミノルタ株式会社 東京サイト八王子</p>
<p>【複写機遺産第05号】リコー 電子リコピーBS-1 「なんでもコピーの時代」をリードした小型湿式 EF 複写機</p>  <p>印字方式：EF 感光紙を用いた湿式直接電子写真方式 製造年：1965年 所在地：神奈川県海老名市 株式会社リコー リコーテクノロジーセンター</p>	<p>【複写機遺産第06号】キヤノン PC-10/20 世界初のカートリッジ方式によるパーソナル複写機</p>  <p>印字方式：乾式電子写真方式 製造年：1982年 所在地：東京都大田区キヤノン株式会社(PC-10) 茨城県取手市 同 取手事業所ショールーム(PC-20)</p>
<p>【複写機遺産第07号】富士ゼロックス 2200 小型化開発の先駆けとなった乾式電子写真複写機</p>  <p>印字方式：乾式電子写真方式 製造年：1973年 所在地：神奈川県南足柄市 富士フィルムビジネスイノベーション株式会社 技術歴史館（塚原研修所内）</p>	<p>【複写機遺産第08号】キヤノン NP カラー 世界初 NP フルカラーアナログ普通紙複写機</p>  <p>印字方式：乾式電子写真キヤノン NP 方式 製造年：1978年 所在地：茨城県取手市 キヤノン株式会社 取手事業所ショールーム</p>
<p>【複写機遺産第09号】リコー ニューリコピー DT1200 普通紙コピーの新潮流をつくったベストセラー小型湿式 PPC</p>  <p>印字方式：普通紙を用いた湿式方式 製造年：1975年 所在地：神奈川県海老名市 株式会社リコー リコーテクノロジーセンター</p>	<p>【複写機遺産第10号】三田工業 コピスター-211 独自の湿式 EF 技術を採用した小型 A3 対応機</p>  <p>印字方式：EF 感光紙を用いた湿式直接現像方式 製造年：1969年 所在地：大阪市中央区 京セラドキュメントソリューションズ株式会社</p>
<p>【複写機遺産第11号】ゼロックス Xerox 1385 (スタンダードゼロックス)世界初の乾式電子写真複写機</p>  <p>印字方式：乾式電子写真方式 製造年：1962年 所在地：神奈川県南足柄市 富士フィルムビジネスイノベーション株式会社 技術歴史館（塚原研修所内）</p>	<p>【複写機遺産第12号】キヤノン LBP-10 世界初の半導体レーザービームプリンタ</p>  <p>印字方式：半導体レーザー+NP 電子写真方式 製造年：1979年 所在地：東京都大田区 キヤノン株式会社</p>
<p>【複写機遺産第13号】リコー リファクス 600S 世界初、全システムをデジタル処理した民生用高速ファクシミリ</p>  <p>印字方式：湿式静電記録方式 製造年：1973年 所在地：東京都大田区 株式会社リコー 本社1F</p>	<p>【複写機遺産第14号】シャープ シャープファックス SF-201 低価格帯で性能と使いやすさを追求した湿式 EF 複写機</p>  <p>印字方式：EF 湿式電子写真方式 製造年：19752年 所在地：奈良県大和郡山市 シャープ株式会社 奈良事業所</p>

【2024-25年度複写機遺産委員会】

委員長：服部好弘（コニカミノルタ）

委員：小森智裕（日機装）、豊原裕一郎（キヤノン）、廣瀬光章（リコー）、福島直樹（キヤノン）、古川利郎（ブラザー工業）、古田達也（コニカミノルタ）、齋一梅（富士フィルムBI）、吉田健（リコー）、米山博人（富士フィルムBI）、渡辺猛（東芝テック）